

天王森泉公園 生き物調査と自然観察会

2024.11.5 (火) 晴れ 参加者：22名 9:00～16:00

急に気温が19度になり肌寒さを感じましたが、散策にはちょうど良い気候でした。

参加者は今回も多く22名、各々興味のある箇所できっと観察ができていました。

野鳥は混群になり10～20羽ぐらいのグループに数回出会えました。特に下飯田遊水地では目の前でエナガやシジュウカラの餌をついばむ姿をゆっくり眺めることができました。

野の花苑一見晴らしの丘一くわくわ森一俣野遊水地一下飯田遊水地 外一外来種 園一園芸種

この時期に見られるツル植物で、見分けが付きにくいものです。葉の形を見比べてください。



野大角豆 ノササゲ (キツネササゲ)

昨秋参加者の方からタネをいただき、育てた方が鉢植えを持ってきてくださいました。見事に紫色の実がつけました。タネは黒紫色



吐切豆 トクリマメ

花は黄色、赤い実が付きタネは黒色



藪豆 ヤブマメ

花は白と紫色、緑から褐色の実が付きタネはうずら模様

野の花苑



木斛 モッコク 実

風格ある樹形で庭木の王様と呼ばれる



ペラペラヨメナ 正式名称外

中央アメリカ原産
源平小菊とも呼ばれる



台湾杜鵑 タイワンホトトギス 外

他のホトトギスは終わったがまだ元気



野葡萄 ノブドウ

実がカラフルで綺麗だが食べられない



紺菊 コンギク 園

ノコンギクの園芸種



黄実千両 キミセンリョウ

千両 センリョウ



石落 ツワブキ

関西以西では食用とする



山保呂之 ヤマホロシ



関谷の秋丁子 セキヤノ

アキチョウジ



溝蕎麦 ミゾソバ

湿った場所に育ち、ソバの花に似るので名がつく 斑入りの葉の形から牛の額ヒタイとも



桜蓼 サクラタデ

小さな昆虫の蜜源になっている



白嫁菜 シロヨメナ



野紺菊 ノコンギク



龍野菊 リュウノギク
葉や茎に龍腦の香りあり



太穂薙刀香寿フトボナギナ
タコウジュ 関西以西生育



野原薊 ノハラアザミ



高野薊 コウヤボウキ
高野山ではこの植物で薊を作った



南蛮煙管 ナンバンギセル
タネ 0.2mm 実の中に数万個入ってる



蟹の爪 カニノツメキノコ
悪臭でキノコバエを呼ぶ

館 玄関脇のアツバスマレにツマグロヒョウモンが卵を産みました。スマレは 10 株以上ありましたが、幼虫がモリモリと葉を食べ尽くし、下の写真の順に完全変態していきました。



ツマグロヒョウモン終齢幼虫
餌を食べずサナギになる場所を探す



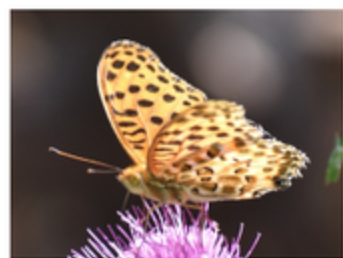
前蛹 (サナギになりかけ)



サナギの背にある 5×10 の棘は金色♀、銀色♂になる



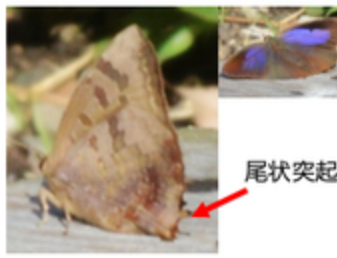
赤茶のシミは蛹便 (サナギから羽化するとき排出される体液)



ツマグロヒョウモン♂
27-38mm 終齢幼虫



アカタテハ 30-35mm
食草：イラクサ科



ムラサキツバ♀23mm
食草：アラカシ



イカリモンガ 35mm
チョウに見えるが「ガ」



ウスキツバメエダシャク
36-59mm



ホシホウジャク
40-50mm スズメガ科



ナツアカネ♂33-43mm
顔まで赤い



ホソミイトトンボ
28-32mm



オオハナアブ 16mm
幼虫は水性 丸っこい体形



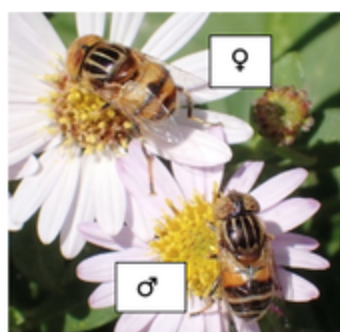
アシブトハナアブ 16mm
後脚が太い



ホソヒラタアブ 11mm
ホバリング上手い



ミナミヒメヒラタアブ
9mm 腹部が細長い



キゴシハナアブ 13mm
黄色の複眼が特徴



セイヨウミツバチ 13mm
ハチミツを造るため欧州から持ち込まれた帰化種



トラマルハナバチ 20mm
鮮やかな栗色の毛深いハチ



ツマグロキンバエ 7mm
複眼は波模様が特徴



ニホンカナヘビ 200mm
尾が長くヘビのように見えるため



マルカメムシ 5mm
強い悪臭がある



ハラビロカマキリ 70mm
樹上性のカマキリ 珍しい褐色型

井天坂～見晴らしの丘



野茨 ノイバラ 実



屁糞葛 ヘクソカズラ 実



吐切豆 トキリマメ 実



小真弓 コマユミ 実
マユミよりニシキギに似る



南天 ナンテン 実



満作 マンサク 落ち葉
銀色に光っていた



力芝 チカラシバ



セイタカアワダチソウ 外



アスカチュウレンジ



ムモントックリバチ 巣



ヤマトシジミ 16mm



ウラナミシジミ 18mm



クロマダラソテツシジミ



イチモンジセセリ 22mm



ベニシジミ 19mm

見聞きした野鳥: 混群 (シジュウカラ・エナガ・メジロ・コゲラ) モズ♂・ヒヨドリ
昆虫: キタキチョウ・ヒメクダマキモドキ(クモの巣にかかる)・イセリアカイガラムシ

くわくわ 森



英蓼 ガマズミ 実
甘酸っぱい味



野竹 ノダケ 花



鎌柄 カマツカ 実
リンゴ味



八手 ヤツデ 花芽
花は冬に咲く



藪肉桂 ヤブニッケイ (クスノキ科) 実
アボガドはクスノキ科なので実の形が似ている



山香ばし ヤマコウバシ 実
クスノキ科 果肉は少ない



利根薊 トネアザミ
(タイアザミ)
葉の棘が痛いので
イタイアザミと覚え
る



白ダモ シロダモ (クスノキ科) 実 果肉があり鳥が好む
葉裏の粒はシロダモハコブフシ(虫コブ)シロダモタマバエがいる



日柿 ヒサカキ 実
鳥が好む



茜 アカネ ツル性の植物で、根は古代から使われている茜色の染料となる



紫式部 ムラサキシキブ
実 これも鳥が好む実だ
が今年は少ない



山茶花 サザンカ
いつもは 12 月に咲くが
今年は早い



薦 ツタ
綺麗に色づく



秋の野芥子 アキノ
ノゲシ
日当たりの良い場所
に咲き、高さが 2m 近
くになるものもある
花の色が他のキク科
の黄色より薄い



木通 アケビ 実
アケビのツルは沢山生え
るが、ほとんど刈られて
実がつくのは珍しい



烏瓜 カラスウリ 実
雌雄異株で雌株が少な
く見つけづらい



眞弓 マユミ 実
今年は実の付きが悪い



仙人草 センニンソウ タネ
綿毛が開くと仙人の髭



薮柑子 ヤブコウジ
(十両) と呼ばれる



釣鐘人參 ツリガネ
ニンジン



南天萩 ナンテンハギ
(正式名称)フタバハギとも



釣船草 ツリフネソウ 実 熟すと触れただけで弾ける
ホウセンカの仲間



縮笹 チヂミザサ (上) 毛が少ないのはコチ
ヂミザサとも 毛縮笹 ケチヂミザサ (下)



ナカムラオニグモ
14mm



ムネアカハラビロカマ
キリ卵のう 外 中国



クロウリハムシ 6.7mm
カラスウリの葉を食べている



キタキチョウ 24mm
成虫越冬する



ルリタテハ 44mm 翅裏
は樹皮に似ている模様



カブトムシ幼虫 コナラ
の切り株を倒したらい



ジョロウグモ 産卵 葉に産
みつけたが葉が落ちたら？



ボクトウガ幼虫 50mm
食性：コナラ・クヌギ材



チュウゴクアミガサハ
ゴロモ 14mm 外 中国



オオカマキリ 90mm



キバラヘリカメムシ
17mm



アゲハ終齢幼虫 40mm 食草
のカラスザンショウを食べる



ヒメクダマキモドキ
42mm



ナナホシテントウ
8.6mm



ワカバグモ 13mm
待ち伏せ型のクモ



コナラシギゾウムシ 10mm
ドングリに卵をうむ



ミスジマイマイ

田んぼ



ウグイス 幼鳥



芒 ススキ 株立ち
毛は実とほぼ同じ長さ



長く伸びる
ノギがある



荻 オギ 1本ずつ立つ
毛は実よりも長いので、より銀色に輝いて見える



ノギはない



秋の狗尾草アキノエノコロ
グサ 実の粒が大きい



関東嫁菜 カントウヨメナ
田んぼの畦道に咲く



面高 オモダカ 平たいタネが
ギッシリつまり丸くなっている



丸葉アメリカ朝顔 外 南北ア
メリカ原産 丸葉朝顔の変種

俣野遊水地



秋葉萁 アキグミ
食べられるが渋みが残る



金狗尾 キンエノコロ
丈が短く穂が立つ



コバネイナゴ
上が♂



蝦蟇 エビヅル 実の甘く
食べられる



アカタテハ 35mm



ホオジロ♂ 16.5cm



ダイサギ L90cm



アオサギ L90cm W160cm

境川・下飯田遊水地



キジバト L23cm



オナガ L37cm



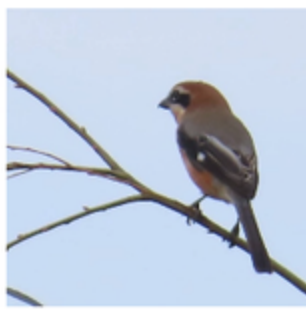
カワセミ♂ L17cm



キセキレイ L20cm



ホシゴイ(ゴイサギ幼鳥) L57.5cm



モズ♂ L20cm



ヒヨドリ L27.5cm



エナガ L13.5cm



コガモ♀ L37.5cm



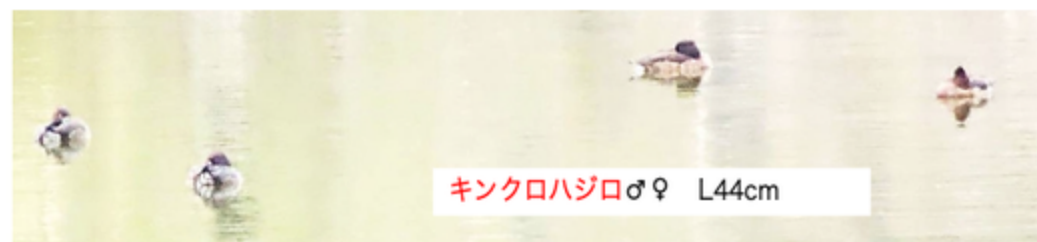
マガモ♂ L59cm



マガモ♀



カイツブリ L26cm



キンクロハジロ♂♀ L44cm



オオバン L39cm



カワウ L82cm



カワセミ♀ L17cm



チャバネセセリ 19mm

見聞きした野鳥：スズメ 60羽・ウグイス♪
シジュウカラ・タヒバリ 7羽・オナガ 16羽
ハシビロガモ・コサギ・ホオジロ♂♀
カワウ 40羽
昆虫：モンキチョウ♂♀